

地域科学特別演習Ⅰ

8単位 (必修) 1年 (通年), 2年 (通年)

内藤 徹・教授 / 大学院ソシオ・アーツ・アンド・サイエンス研究部

【授業概要】 本演習では空間経済学の基本的な知識を大学院レベルのテキストを用いて習得し、修士論文作成において自身でそれらを活用できるようになることを目的とする。扱うトピックは空間経済学モデルによる都市内構造の分析、集積の経済、人口移動などを予定している。前半は、Fujita (1989) 「Urban Economic Theory」の各章や各自のテーマに沿った基本文献を受講者に分担して報告してもらい空間経済学の基本モデルを理解することを目標とする。後半は受講者が作成する修士論文を中間報告の形で行い、演習内で改善および拡張を行い受講者の修士論文の完成を目指す。

【到達目標】 地域科学 (空間経済学) に関する修士論文を完成させる。

【授業計画】

1. 前半:空間経済学に関する基本文献のサーベイを行い、分析力の習得を図る。
2. 後半:受講者が作成する修士論文を中間報告の形で行い、演習内で改善および拡張を行い受講者の修士論文の完成を目指す。

【成績評価】 完成した修士論文および平素の成績

【再試験】 原則的になし

【教科書】 演習開始時に指定

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=218132>

【連絡先】

⇒ 内藤 (naito@kyudai.jp) MAIL